

# グローバル金融危機時の損害保険会社の システミック・リスクの影響度分析 —銀行との対比検証—

菅野 正 泰\*

## 要 旨

本論文は、グローバル金融危機によって、わが国の損害保険会社が被ったシステミック・リスクの影響について、銀行との対比で分析したものである。用いるシステミック・リスク指標は、Acharya 他 (2010) で提案された限界期待ショートフォール (MES) と、Huang 他 (2009a, 2009b, 2011) で提案された破綻保険料 (DIP) である。DIP の主要なリスクパラメーターである相関係数として、Engle (2002) で提案された動的条件付相関 (DCC) を導入し、DIP を時間依存の不均質な指標として計算した。欧米と比べて比較的影響が少なかったとされる、わが国金融機関（銀行、保険会社）であっても、分析の結果、2つの指標ともシステミック・リスク増嵩のアラームを発しており、セクター別システミック・リスク指標としての今後の利用可能性が期待される。

キーワード：システミック・リスク指標，MES，DIP，DCC，金融危機

## 1 はじめに

近年、グローバル金融危機あるいは欧州債務危機といった世界的な金融・財政危機が繰り返される中、損害保険会社のリスク管理上も平時とは異なるリスク管理体制の構築が求められると言っても過言ではない。先の

---

\*神奈川大学経営学部，金融庁金融研究センター特別研究員。本研究は，公益財団法人 石井記念証券研究振興財団の平成 24 年度研究助成を受け実施した一部である。ここに記して感謝したい。